

## 「骨粗鬆症性骨折の二次骨折防止への取り組み」 ご協力をお願い

医療連携におきまして平素より大変お世話になり、誠にありがとうございます。

平成28年9月より、北九州西部地区の6病院（産業医科大学病院、健愛記念病院、芦屋中央病院、くらて病院、社会保険直方病院、福岡新水巻病院）におきまして、骨粗鬆症性骨折に対して治療をした患者様を対象に、二次骨折防止を目的に、骨折後の骨粗鬆症薬物治療の開始と継続、定期的な検査を徹底するよう取り組んでおります。

そこで、上記の6病院より貴院に骨粗鬆症薬物治療の開始と継続、定期的な検査などの依頼がございました場合には、ぜひともご協力賜りますようお願い申し上げます。

二次骨折防止の取り組み（STOP-Fx study; Seamless Treatment of Osteoporosis against Fractures study）の概要につきましては2ページ目をご覧ください。この取り組みの主旨にご賛同いただき、ご協力賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

産業医科大学整形外科

酒井 昭典

807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1

TEL : 093-691-7444

FAX : 093-692-0184

## STOP-Fx study 概要

(\*下記の研究内容は6病院で全て執り行いますので、貴院での手続き、患者登録、プロトコル表の提出などは不要でございます。)

### 本研究をおこなう背景

- 1：骨粗鬆症性骨折患者の多くは、二次骨折予防がされていない。
- 2：二次骨折予防のためには、治療率と治療継続率の向上が重要である。
- 3：骨折患者の治療率は約20%である。
- 4：1年で約50%が処方どおりの服薬ができていない。
- 5：5年以内に約50%が治療脱落している。
- 6：二次骨折予防対策を整形外科医は推進する必要がある。

### 本研究の目的

骨粗鬆症性骨折患者に対して二次骨折予防（治療率と治療継続率の向上）を行うことにより骨折発生率を減少させることができるか否かを明らかにする

### 対象と方法

#### ➤ 対象

- 骨粗鬆症性骨折（椎体骨折・大腿骨近位部骨折・上腕骨近位端骨折・橈骨遠位端骨折）患者（保存・手術とも）を対象とする。
- 入院・外来患者とも、男性・女性とも登録する。
- 全ての患者を登録する（承諾が得られない患者も登録はする）。
- 登録は初診の施設で行い、もれのないよう徹底的にフォローする。
- 年2回（2月末と8月末）プロトコル表を大学に提出する。

#### ➤ 方法

- 多施設共同前向き観察研究
- 患者登録期間：2016年9月～2018年8月（2年間）
- 追跡期間：3年間

#### ➤ 評価項目

- 主要評価項目：各病院における骨粗鬆症性骨折（椎体骨折・大腿骨近位部骨折・上腕骨近位端骨折・橈骨遠位端骨折）の年間治療件数
- 副次評価項目：① 骨粗鬆症の治療率、② 骨粗鬆症の治療継続率、③ 新規骨折発生率、④ ベースラインから治療開始後3年の骨密度変化率